

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ  
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－基本配付用】

## 令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書

(校園コード 741695 )

※校園コードを入力してください。

取組に対する評価状況

学校名 南百済小学校

学校関係者による評価実施済

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 1,399,508 円 → 決算額 1,363,157 円

### 2 配付上限額

学校配当	学級数	特別支援学級数	学級配当
350,000	+ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">14学級</span>	+ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7学級</span>	× <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">50,000</span>

※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。

配付上限額	= <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1,400,000</span>
-------	-------------------------------------------------------------------------

### 3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

- 平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 平成31年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。
- 平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 平成31年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
- 平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。
- 平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- 平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- 平成31年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童（生徒）の割合を、前年度より増加させる。
- 学校園の年度目標
- 平成31年度の小学校学力経年調査・校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。
- 平成31年度の小学校学力経年調査における「算数の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を平成28年度より増加させる。全市共通目標

①定期に一度、いじめについて考える授業を実践し、いじめに対する意識を高めることに成功した。また、いじめアンケートの結果や日頃の児童の様子から共通理解を図り、いじめの早期発見に努めることができた。

達成

②算数科、「図形のきまり」複数指導時間、音楽教室の「音楽を取次う」と「音楽を取次う」等の指導を行った。その結果、年度末アンケートにおいて、少人数指導が「わかりやすい」と肯定的に感じている児童が中間評価の60%から75%にアップした。

A

③授業展開や発問内容を工夫しペアやグループでの話し合い活動を多く取り入れたことで、活発な話し合いができるようになってきた。その結果、中間評価時に比べ「話し合う活動を通じて自分の考えが深まった」と回答した児童の割合が3ポイント上昇した。

④従来からの体育科での準備運動やかけ足週間といった取り組み以外にも2・3学期に「50m走ろう会」を開催し、走の運動を取ませる機会を増やした。「50m走ろう会」には毎回50人以上の児童が参加しており、積極的に走の運動に親しむ姿が見られた。

### 4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

取組内容③【施策2 施策名 道徳心・社会性の育成】

強調週間を設け、自尊感情を高めるための声かけをするなどの実践に取り組んだり、がんばりカードを活用する際、各個人の目標を設定し、達成した児童を称めたりする取り組みを行なう。

## 5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

**指標** 自尊感情を高めるための強調週間を半期に1度設ける。がんばりカードに目標設定の欄を設けたものを作成し、活用する。

**指標** 習熟度コーディネーターを中心に、年間指導計画を立て、全指導時間の95%以上を習熟度別・少人数指導、チームティーチングで行う。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

A

自尊感情を高めるための強調週間を前期、後期それぞれ2週間設けて取り組んだ。「ほめ日記」を活用することで、児童自身が自分のよさを見つけることができたと同時に教師側も児童一人一人のがんばりを認め、褒めることを継続することができた。算数科、国語科においてほぼ全指導時間、習熟度もしくはチームティーチング等個に応じた指導を行った。その結果、年度末アンケートにおいて、少人数指導が「わかりやすい」と肯定的に感じている児童が中間評価の60%から75%にアップした。

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

## 6 昨年度からの改善点など ※自由記入

自尊感情アンケートでは文言が難しい項目があり、特に低学年では真意を理解させるのに工夫が必要だった。アンケート結果の分析から否定的に自己を見つめている児童の中には、学級全体のことを広い視野から見つめ、学級のために努力しているが、その頑張りがまだ足りないと感じている児童がいることなどが分かった。アンケートの数値だけでなく、一人一人の個性を理解しながらアンケート結果を見つめることが大切である。その上で自尊感情の低い児童については、全体で共通理解し、声かけを行い、見守っていくことが大切である。算数科・国語科とも現在の取り組みを継続していく。クラスの分け方及びクラスごとの進め方をさらに工夫し、学習内容が分かりやすいと感じる児童の数を増やす。

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1) 取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
【施策5 こども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】・観察、実験を含む体験的な学習等		A
①予算内訳		
11-1 プログラミング学習セット @15,000×20=300,000円 8-1 理科特別授業 6,200×4時間=24,800円 11-1 花の苗 @489×100円 @256×79円 69,124円 12-1 4年 大阪科学館交通費 @224×67人=15,008円 9-5 4年 大阪科学館付添い交通費(下見含) @504×6人=3,024円 14-1 4年 プラネタリューム(大人4人含) @240×71人=17,040円		
②決算内訳		
11-1 プログラミング学習教材 228,000円 11-1 花の苗 外 159,284円 12-1 4年校外学習交通費 @224×64人=14,336円 14-1 4年校外学習プラネタリウム入館料 @240×65人=15,600円 9-5 4年校外学習付添旅費(下見含) 1,514円 12-1 6年オリックス劇場鑑賞会交通費 @224×61=13,664円 9-5 6年オリックス劇場鑑賞会付添交通費(下見含) 3,496円	合計 435,894円	
(2) 取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
【施策2 人権を尊重する教育の推進】・自尊感情の醸成に向けた体験学習等の実践		A
①予算内訳		
8-1 韓国・朝鮮の文化体験活動 @4300×3時間=12,900円 12-1 ピース大阪交通費 @224×62人=13,888円 9-5 ピース大阪付添い交通費(下見含) @504×6人=3,024円 8-1 盲導犬体験 @4,300×3時間=12,900円 8-1 王跡体験 @4,300×3時間=12,900円		
②決算内訳		
8-1 韓国・朝鮮の文化活動体験 @4300×3=12,900円 8-1 盲導犬体験 @4,300×2=8,600円 12-1 6年ピース大阪交通費 @224×62=13,888円 9-5 6年ピース大阪付添交通費(下見含) 2,012円	合計 37,400円	
(3) 取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
【施策2 人権を尊重する教育の推進】・芸術鑑賞の実施(音楽鑑賞)		A
①予算内訳		
13-0 公演委託料 300,000円		
②決算内訳		
13-0 公演委託料 292,263円	合計 292,263円	

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。  
委員会使用欄は空欄としてください。